

安全データシート (SDS)

作成： 2023年10月02日

改訂：

1. 【製品および会社情報】

製品名 : PK-208・209 ダイヤシール (外：包装材料)
※本製品は2種類の素材構成から成り、それに伴いSDSも2種類となる。

会社名 : 三喜工業株式会社

住所 : 千葉県千葉市中央区今井1-4-16

担当部門 : 企画開発部

電話番号 : 043-262-8100

FAX番号 : 043-263-2638

緊急連絡先 : 043-262-8100

整理番号 : M0109A

2. 【危険有害性の要約】

重要危険有害性及び影響

物理化学的危険性 : 可燃性物質であり、着火源あれば燃える。

健康に対する有害性 : 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さい。

特有の危険有害性 : 燃焼／溶融などの高温でアセトアルデヒドなどの有害ガスなどが発生するおそれがある。

GHS分類 : 分類基準に該当しない。

3. 【組成・成分情報】

化学物質／混合物 : 混合物（成形品）（ポリエチレンテレフタレート・添加剤「酸化チタン」）

化学名又は一般名	濃度または濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号 化審法（安衛法）
ポリエチレンテレフタレート	98%以上	25038-59-9	7-1022（公表）
添加剤「酸化チタン」	0.5%未満	13463-67-7	1-558（公表）

4. 【応急措置】

吸入した場合 : 溶融物等から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、医師の診断・手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。皮膚上の固まった樹脂は無理にはがさず、医師の診断・手当を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断・手当を受ける。

飲み込んだ場合 : できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断・手当を受ける。

5. 【火災時の措置】

消火剤	： 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	： なし
特有の危険有害性	： 不完全燃焼すると一酸化炭素、アセトアルデヒド等の有害ガスを発生する。
特有の消化方法	： 風上側から、水や二酸化炭素等により消火する。
消化を行う者の保護	： 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、 保護具、緊急時措置	： 人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。必要に応じて保護具（保護用手袋、保護用マスクなど）を着用し、皮膚への付着、眼、口への侵入を防ぐ。
環境に対する注意事項	： 環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	： 箒や掃除機等で全量回収する。

7. 【取扱い及び保管上の注意】

取り扱い	
技術的対策	： 粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは、換気を十分行う。また、呼吸用保護具の着用が望ましい。
安全取り扱い注意事項	： 常温では引火性はないが、消防法指定可燃物であり、近くでみだりに火気を使用しない。 ロール状物は重量物のため、落下しないように注意する。
接触回避	： 高温体との接触を避ける。
保管	
安全な保管条件	： 消防法指定可燃物であり、市町村条例に従う。（消火設備、屋内貯蔵、取扱所など）重量物のため荷崩れをふせぐ。強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。
安全な容器包装材料	： 紙またはポリエチレンフィルム

8. 【暴露防止及び保護措置】

設備対策	： 溶融を伴う作業等がある場合は溶融樹脂と作業者の間に隔壁を設け、換気設備を設置する。また、呼吸用保護具の着用が好ましい。
保護具	
呼吸用保護具	： 粉塵が多い場合は、防塵マスクの着用が望ましい。
手の保護具	： シートによる擦過傷を防止するために保護手袋を着用する。
眼の保護具	： 粉塵が多い場合は保護眼鏡の着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	： シートによる擦過傷や、溶融を伴う作業等では保護衣を着用する。

9. 【物理的及び化学的性質】

外観 物理的状态	: 固体
形状	: ロール状
色	: 白色
臭い	: 無臭
臭いの閾値	: データなし
融点・凝固点	: 255-260°C PET
沸点、初留点、 および沸騰範囲	: データなし
燃焼性（固体、気体）	: 可燃性。着火源があれば燃える。
燃焼または爆発範囲	: なし
引火点	: データなし
自然発火温度	: 480°C以上
分解温度	: データなし
pH	: 該当しない
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール／ 水 分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	: 1.35-1.40g/cm ³ (23°C)
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 【安定性及び反応性】

反応性	: 常温、単独では安定である。
化学的反応性、 化学的安定性	: 常温、単独では安定である。
危険有害反応可能性	: 溶融などの高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える。
避けるべき条件	: 高熱、炎
混融危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド等の有害ガスを発生する。

11. 【有害性情報】

急性毒性（経口）	： 区分に該当しない
急性毒性（経皮）	： 主成分は高分子であり、摂取しても吸収されないため有害性は低いと考えられる。
急性毒性（吸入）	： 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	： 分類できない 粉塵や熔融時に発生するガスは、皮膚を刺激するおそれがある。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	： 区分に該当しない 粉塵や熔融時に発生するガスは、眼を刺激するおそれがある。
呼吸器感作性	： 分類できない 熔融時に発生するガスは、吸引するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある。
皮膚感作性	： 分類できない 熔融時に発生するガスは、皮膚に接触するとアレルギー性皮膚炎を起こす恐れがある。
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 酸化チタンをIARCはGroup 2B、日本産業衛生学会は第2群Bに分類されています。
生殖毒性	： 分類できない
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	： 分類できない 熔融時に発生するガスは、気道を刺激する恐れがある。
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	： 分類できない 熔融時に発生するガスは、気道を刺激する恐れがある。
誤えん有害性	： 分類できない

12. 【環境影響情報】

生態毒性	
急性毒性	： 区分に該当しない
魚類	： 区分に該当しない
甲殻類	： 区分に該当しない
藻類	： 区分に該当しない
慢性毒性	： 区分に該当しない
魚類	： 区分に該当しない
甲殻類	： 区分に該当しない
藻類	： 区分に該当しない
残留性・分解性	： 生分解性なく安定で、環境中に長期間残量すると考えられる。
生体蓄積性	： ないと考えられる。
土壤中の移動性	： 水に溶解しないので無いと考えられる。
オゾン層への有害性	： データなし

13. 【廃棄上の注意】

- | | | |
|----------|---|---|
| 残余廃棄物 | ： | 廃棄物処理法の廃プラスチック類に該当する。産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託する。 |
| 汚染容器及び包装 | ： | 残余廃棄物と同じ。 |

14. 【輸送上の注意】

- | | | |
|----------------|---|--|
| 国連勧告 | | |
| 国連分類 | ： | 国連危険物輸送韓国 of 危険物に該当しない。 |
| 国連番号 | ： | 国連勧告の定義上の危険物には該当しない。 |
| 品名（国連輸送名） | ： | — |
| 容器等級 | ： | — |
| 海洋汚染物質 | ： | 非該当 |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | ： | 重量物のため、転倒、落下が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う破袋の恐れがあるので、水濡れや、乱暴な取り扱いはしない。 |
| 国内規制 | | |
| 陸上 | ： | 輸送に関する法規制には該当しない。 |
| 海上 | ： | 輸送に関する法規制には該当しない。 |
| 航空 | ： | 輸送に関する法規制には該当しない。 |

15. 【適用法令】

- | | | |
|----------------|---|--------------------|
| 労働安全衛生法 | | |
| 通知／表示対象物（政令番号） | ： | 酸化チタン |
| 消防法 | ： | 指定可燃物 |
| 廃棄物処理法 | ： | 廃棄時は産業廃棄物、廃プラスチック類 |

16. 【その他の情報】

- | | | |
|------|---|---|
| 制約事項 | ： | 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改定されることがあります。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別の取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。 |
|------|---|---|